

とやま

県広報とやま

2001 | 11・12
月合併号

No.389

富山県

特集 **もっともっと元気な富山をめざして**

～ 合言葉は「元気に富山 !!」～



海王丸総帆展帆100回参加第1号の玉井文次さん(写真中央)と海王丸ボランティアの皆さん。展帆を終えて、海王丸の最上甲板メインマストの前で。

9月

25 ~ 28日

海洋環境保護の今後の取り組みを討議 富山で国連環境計画主催の会議が開催

家庭や工場などの廃水からの海洋環境保護をテーマとする国連環境計画(UNEP)主催の国際ワークショップが九月二十五日から二十八日までの四日間、県民会館で開催されました。

この会議には、アジア太平洋地域十カ国から約五十人が参加。オープニングセッションでは、中沖知事が「日本海が平和と繁栄の海になるよう、会議の成果を期待している」とあいさつしました。



10カ国の研究者らが熱心に討議したワークショップ

今回のワークショップは「陸上活動からの海洋環境の保護に関する世界行動計画」の一環で行われたもので、アジア太

平洋地域における陸上からの廃水による沿岸環境の汚染について、ガイドラインの作成、革新的技術による対処、パートナーシップの充実の観点から活発な議論が行われました。最終日には、総括会議が開かれ、ガイドライン作成や下水管理の技術普及をめざした運営グループの設立が提言されました。

県では、今後とも国際的な環境協力に対し、積極的に支援することとしています。

問合せ

県庁環境政策課

☎076(444)3141

9月

28日

二十一世紀に飛躍する 友好交流を確認

富山県・オレゴン州友好提携十周年

九月二十八日、本県とオレゴン州の友好提携締結十周年を記念して、キッツハーバー・オレゴン州知事を代表とする友好訪問団六名が県庁を



固い握手を交す中沖知事とキッツハーバー知事

訪問し、中沖知事らと懇談しました。

中沖知事とキッツハーバー知事は、友好提携十周年を契機として、両県州の友好・協力を一層深く発展させることを確認しました。

その後、開催された記念レセプションには、県関係者のほか、県議会、経済界、教育関係者など約九十人が出席。アトラクションの魚津屋敷太鼓で、両知事が太鼓打ちを競演するなど、終始なごやかな雰囲気の中、交流を深めました。

また、十月十四日からの五日間、本県の友好訪問団五名がオレゴン州を訪問し、友好提携十周年を記念する事業に参加し、両県州の相互理解と友好親善を深めました。今後、幅広い交流が一層活

発になり、友好の絆がさらに強固なものになることが期待されます。

問合せ

県庁国際・日本海政策課

☎076(444)3158

10月

19日

富山が舞台の映画、十一月から公開

「赤い橋の下のぬるい水」一行が知事を表敬

とてもつきあいやしく、本当にお世話になった」と氷見の印象を語りました。中沖知事は、「氷見は、海越しに見える立山連峰と朝焼けが美しいことで有名です。この映画で氷見をロケ地を選んでいただき、本当に嬉しい。また富山を舞台にした映画を撮ってほしい」と富山県をアピールしました。

この作品は、十一月三日より、全国一般公開されます。

問合せ

県庁広報課

☎076(444)3134

氷見市で撮影された映画「赤い橋の下のぬるい水」の今村昌平監督と主演の役所広司さん、清水美砂さんが、十月十九日に県庁を訪れ、中沖知事と懇談しました。

一行は、県内での上映イベントなどに出席するために来県したもので、今村監督は、氷見の方々は、



知事と懇談する今村監督、役所さん、清水さん





CONTENTS 目次

| | |
|------------------------------------------------|----|
| TOPICS【トピックス】 | 1 |
| 県政の動き / 県ナビとやま | 2 |
| 特集 | 3 |
| もっともっと元気な富山をめざして ～合言葉は「元気に富山!!」～ | |
| CLOSE UP【クローズアップ】 | 7 |
| 雪とのよりよい関係をめざして ～「富山県総合雪計画 県民スノープランー雪との共生～」～ | |
| とやま感動案内 | 9 |
| タラソピア | |
| とやまのやる気・元気 | 11 |
| 総帆展帆100回参加第1号の海王丸ボランティア 玉井 文次さん | |
| インフォメーション | 12 |
| 県政ミニガイド | 13 |
| 行ってみよう情報 | 14 |
| とやま音のある風景 | 15 |
| 赤トンボ広場の虫の声 [山田村] | |

県政の動き

(9/15～10/19)



- 9月22日** 県民芸術文化祭2001 総合フェスティバル (～25日)
- 25日** 国連環境計画 (UNEP) 主催会議 (～28日)
- 28日** オレゴン州友好訪問団が来県
- 30日** 第30回全日本文化集会富山大会 (～10月1日)
- 10月2日** 県総合情報センターにインキュベート施設を設置
- 3日** 宇奈月ダム竣工式
- 5日** 知事のまちなまり (大山町)
- 13日** 宮城国体で県勢活躍・男女総合成績9位(～18日)
- 14日** 富山県友好訪問団がオレゴン州を訪問 (～18日)
- 19日** 映画「赤い橋の下のぬるい水」一行が知事を表敬

県の施設 ナビゲーター

県ナビ
とやま

No.5

富山空港管理事務所

安全な空の旅を
サポートします



県の空の玄関口・富山空港にある富山空港管理事務所では、航空機の離着陸の安全確保に関する次のような仕事をしています。

(1) 空港の維持管理

- ①航空機の離着陸に必要な滑走路、誘導路、駐機場などの空港基本施設の維持管理
- ②航空機の離着陸の安全を確保するための飛行場灯火施設、空港消防施設などの維持管理
- ③空港を利用する方の利便性の確保に必要な道路、駐車場などの維持管理

(2) 空港使用に関する調整

- ①国内・国際定期便、チャーター便およびその他の外来機に対する発着時間および駐機場所の指定
- ②空港内工事に伴う航空機の運用方法などの調整
- ③航空機の飛行に影響を及ぼす障害物や鳥獣への対策を実施

(3) 空港保安維持と緊急事態発生時の体制確立

- ①航空機の安全運航確保のため、部外者立入規制区域の設定と運用
- ②空港内での火災・事故発生時の消火救難体制の整備など、緊急事態発生時の体制確立

DATA

富山空港管理事務所

〒939-8252 富山市秋ヶ島30

☎ 076(495)3055

FAX 076(495)3064

E mail koku01@pref.toyama.jp

開所時間 午前6時30分から午後9時まで(年中無休)

ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1515/1515.htm>



もっともっと 元気な 富山をめざして

～合言葉は「元気に富山!!」～



二十一世紀は知恵の時代といわれます。明るくいきいきとした県づくりを進めるためには、一人ひとりが「元気」を出して未来を力強く切り拓いていくことが大切です。「元気に富山!!」を合言葉に、みんなで力を合わせて、もっともっと元気あふれる富山をめざしましょう。

「元気に富山」とは?

本県では、これまで、生活環境の整備や都市機能の充実に努めるとともに、2000年国体などの様々な全国イベントを通して本県の魅力を全国・世界に発信するなど、ハード・ソフト両面で各種施策を積極的に進めてきました。

り、魅力あふれる県づくりを進めるためには、これまでに形成された社会資本や経験等の蓄積を上手に生かしながら、ソフト面の施策をさらに充実していくことが重要となります。

そこで県では、昨年、県民みんながもっともっと元気になるよう幅広く検討するために「元気に富山推進懇話会」を設置。同会で、広く県民の皆さんからアイデアを募集し、今年一月には、元気あふれる県づくりのための様々な方策を盛り込んだ提言を取りまとめました。

そして、この提言を踏まえ、県、市町村、民間が連携して、いろいろな取り組みを具体的に推進していくため、今年六月に「元気に富山推進会議」を設置しました。

今後県では、皆さん一人ひとりが、自主性、創造性、チャレンジ精神を発揮し、力強く未来を切り拓いていくための「元気活動」を支援していきます。



一面に咲き誇るコスモスに囲まれる「F・プロジェクト実行委員会」の皆さん(新湊市) 県内で活躍する若手アマチュアミュージシャンの発表の場として開催した「ミュージック・バトルinTOYAMA(富山市) 住民主体のまちづくりをめざす国宝「瑞龍寺」のライトアップ。(高岡市) 全国の学生による創作ダンスコンクール「アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ(福岡町) 出場メンバーは、町内でホームステイをし、地元住民と交流を深めた。

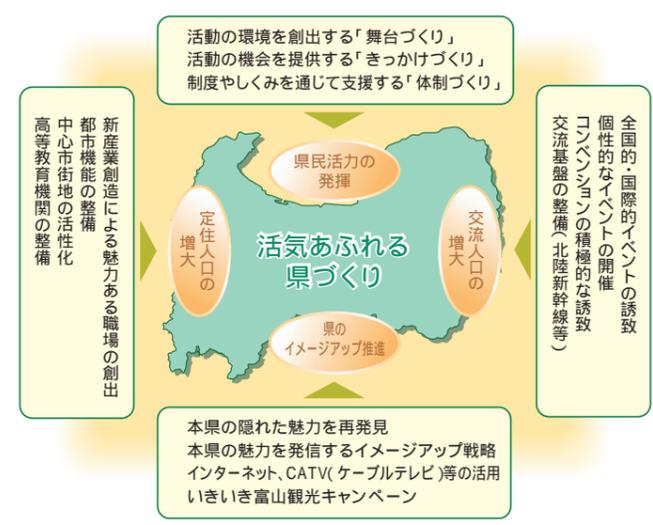
元気な活動を支援する仕組みをつくりま

- 人材、情報、施設のネットワークづくりなど、制度や仕組みを通じて元気な活動を支援する体制を築きます。
- 元気に富山推進会議でのネットワークづくりの推進
- 「達人(元気活動の実践者)の発掘・登録による元気活動の輪の拡大
- 笑顔あふれる写真展「とやまスマイル展」の開催
- 大人も子どもも自然にあいさつを交わす地域社会をめざすあいさつ運動の実施

元気な活動を応援します

- 「元気に富山」県民活動支援制度を創設し、県民の皆さんが自主的に取り組む活動に対して助成します。
- 対象事業
 - 元気な県民活動として国内外に発信できるもの
 - 元気な人材の育成に貢献するもの
 - 地域の特性や施設を生かした活動で、その活動や交流の輪に広がり期待できるもの
- 補助率 対象経費の二分の一以内
- 限度額 一 万円
- (今年度の募集は終了しています。来年度は平成十四年四月募集開始予定)

活気あふれる県づくりに向けた取り組み



元気な活動の舞台づくりを支援します

- 市町村や民間事業者等が、空き店舗、余裕教室など既存の施設を有効活用するための改修等に対して助成します。
- また、元気な活動を創出するため、県有施設の改修等を進めます。
- 「民間事業者が主体の場合」
 - 市町村からの補助(補助額のうち二分の一は県補助)
 - 補助率 対象経費の二分の一程度
 - 限度額 五〇〇万円程度
 - いずれも市町村によって異なります。

元気に富山推進懇話会の主な提言

舞台づくり

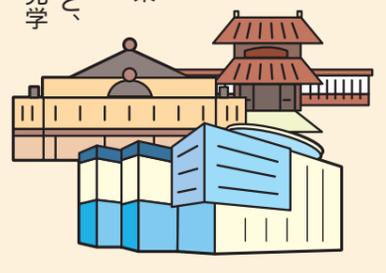
- 商店街の空店舗等を活用して若手芸術家のアトリエを提供するまちかど芸術工房
- 空をテーマとして、パラグライダー、熱気球、ラジコンヘリなどのメッソカとなるスカイ・レジャー・パーク
- 木彫、銅器、和紙、ガラスなどのさまざまな素材と技が地域と融合した手づくり工芸文化村

きっかけづくり

- 日本の精神文化に根ざし、環境にやさしい二十一世紀型住空間のモデルとなるデザインの発信
- みんなで森づくりに参加し、森の案内人とともにキノコや山菜等の森の恵みを楽しみ育てる森のげん木運動
- 自分のできることを、ありがたの心で交換し合うボランティア交換券(エコマネー)の発行や流通

体制づくり

- 県内の様々な元気活動の実践者である達人の発掘・登録交流の場の提供
- 富山のオンラインワンといえる様々な情報を国内外に戦略的に発信する効果的な手法の開発研究
- 名勝史跡、博物館、伝統的建物など、自然や文化をひとつのテーマで結ぶ見学ツアーミュージアムリレーの開催



「とやまスマイル2001」開催

「元気」講演会・「とやまスマイル展」表彰式
 日時 11月10日(土)13:00～16:00
 会場 マリエとやま7階
 県民小劇場オルビス 入場無料
 内容 ・「元気寄席」柳家さん生(落語家)
 ・「とやまスマイル展」表彰式
 ・「元気」講演会
 講師:佐藤綾子さん(実践女子大学教授)
 テーマ:「自分をどう表現するか」
 ・「大衆芸能資料展」
 オープニングトーク:澤田隆治さん((株)東阪企画社長)

「とやまスマイル展」作品展示

11月10日(土)～16日(金)
 マリエとやま6階オープンスペース
 このほか、県内各地10箇所で、順次展示を行う予定です。

達人募集中!!

「元気に富山」では、元気活動の旗振り役として、自分の得意分野を生かし、県民の元気につながるために非営利で取り組みたいという意欲のある人を「達人」と呼んでいます。つまり、「元気に富山」の輪に入って何かしたい、と思っている「元気・達人な人」です。ただいま「達人」を募集しています!!

日本の元気は富山から
 今年度からスタートした県民新世紀計画の基本目標「水と緑といのちが輝く元気とやま」にもあるように、「元気」は二十一世紀を走り出した富山県の、県民一人ひとりのキーワードです。
 元気に暮らし、元気に働き、元気に学び、元気に生きる。
 元気な県づくりには、皆さん一人ひとりの「元気」が富山に!!という気持ちと行動が何よりも重要な要素です。

「元気に富山」のホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1111/genki/index.htm>
 富山県未来財団
 ☎076(444)9605
 ☎076(444)2000

元気なグループ紹介

あさひガイドグループ

「すこしのことにも、先達はあらまほしき事なり」(ちよっとしたことであっても、案内する人がいてほしいものである)『徒然草第五十二段より』。観光ガイドボランティアは県内に三十グループありますが、「あさひガイドグループ」は県の一番東で活動しています。徒然草にもあるように、県外からの観光客に楽しんでもらえるよう、きめ細かなガイドに心がけています。最近「にっついて勉強したい」といったガイドの依頼が多く、私たちが教えてもらうこともいっぱいあって、逆に元気をもらっていますよ。(代表の水野瑠美子さん)



余裕教室を高齢者の集う場として改修した新湊小学校。児童との世代間交流にも活用する。



元気な活動の舞台づくり

廃園となった保育園を、町の文化や特産品を紹介する「まちの駅ふくおか」に改修。中心市街地の活性化につながる事が期待される。



買い物客の休憩や友達との会話を楽しむ場として常設のベンチを整備した富山市総曲輪通り。

元気なグループ紹介

まちなみアート・リレー in とやま連絡協議会

「自分たちの街をおしゃれに演出したい、みんなに新しい魅力を発見してもらいたい」。こんな思いを抱いた八尾町、婦中町、井波町、福野町が今年初めて、共同でリレー方式のアートイベントを開催しました。富山には、歴史のある町並みや趣のある建物がたくさんあります。そんな優れた舞台を持ちながら、これまでは個別に行っていました。今回のアート・リレーではアートをキーワードに、ネットワークが広がりました。次回はもっと仲間を増やし、いずれば年間を通してやりたいと思っています。(事務局長の山下隆司さん)



元気なグループ紹介

Fプロジェクト実行委員会

海王丸パーク付近の県有地約三ヘクタールに広大なコスモス畑を作り上げるといふ夢のある計画です。「F」には、ファミリー、フラワー、フレンドなどの意味が込められています。市内外の多くの人が「里親」となってコスモスを種から苗に育て、七月には、里親やボランティアなど約一万人の手で一斉に畑に移植。その後の水やりや草むしりなどの手入れもすべて自分たちの手でやりました。そうした努力が実り、八月下旬から十一月にかけて、百万本の色とりどりのコスモスが咲き誇り、訪れた人々の目を楽しませていきます。畑一面に咲いたコスモスを見て、プロジェクトに参加したみんなが達成感と感動を味わいました。(代表の江守淳一さん)



元気なグループ紹介

200X年まちづくりの会 from・高岡

市民主体のまちづくりをめざして、平成十一年七月に設立しました。今年「まちのデザイン」をテーマにしたワークショップを四回開催します。九月には第一回として「国宝瑞龍寺のあるまち編」を開催。地元住民などが実際に瑞龍寺周辺を歩き、「あったらいいもの」「残したいもの」「いらないもの」を発見したり、感じたりしました。十一月には「吉久のまち編」、続いて「金屋のまち編」「山町のまち編」を開催する予定です。このワークショップがきっかけとなって住民によるまちづくりへの意識が高まればうれしいですね。(会長の苗加康孝さん)



雪とのよりよい関係をめざして

～「富山県総合雪計画 県民スノープラン-雪との共生-」～

県ではこのたび、「富山県総合雪計画 県民スノープラン」を策定しました。この計画は21世紀最初の10年間の総合的な雪に関する施策を定めたものであり、県民の皆さんと行政が連携を取りながら、雪との共生をめざしていきます。



今年1月の魚津での集中的な降雪。平野部での大雪は久しぶり。

雪に関する主要施策の概要

元気な人が支える雪国

- ・元気な高齢者から若者に克雪技能を伝承するなど雪に強い人材の養成を行います。
- ・雪を利用したレクリエーションスポーツなどを開発し、普及させます。

安全、安心で快適な雪国

- ・雪に強い道路や雪対策施設を計画的に整備します。
- ・自力で除雪が困難な世帯の屋根の雪下ろしなどの経費に対する補助を行います。
- ・インターネットやケーブルテレビなどを利用して、きめ細やかな気象情報や道路情報を提供します。
- ・河川水、農業用水、下水処理水など消費水の多様化を図ります。

利雪・親雪の促進

- ・富山の冬の魅力を継続的にPRし、雪を活用した観光の振興を推進します。
- ・「花と緑の冬のフェスティバル」など、冬を明るく過ごせるイベント開催を支援します。
- ・雪に関するシンポジウムなどを誘致し、全国の雪国の人々との交流を進めます。

雪災害への対応

- ・雪崩監視装置の設置や警戒非難体制の整備を促進します。
- ・消融雪施設の設置などを行う商店街や中小企業を支援します。



下水処理水を利用した消雪パイプ（県道富山魚津線・富山市浜黒崎）



屋根に人工芝のスロープを設けた「庄川親雪体育館」。冬はソリやスキー遊びができる。

富山県総合雪計画の目標

元気な人があふれる雪国

雪害を自ら克服し、雪に親しみ、雪を楽しむ元気な人々があふれる県

誰もが住みよく、住みたい雪国
通常の降積雪のもとではすべての人々が安全で快適に暮らせる県

受け継ぎ、育てる雪国文化

先人が築き上げた生活文化を継承し、多様な交流のなかから雪国の文化を創造し発信する県

本県の雪の現状と対策

富山県総合雪計画は県総合雪対策条例に基づき策定しており、今回で第三次計画となります。県では、これまでの雪対策により、平年並みの降雪量であれば、暮らしや産業活動に大きな支障は出なくなっています。

しかし、近年平野部での雪が少ないことから、県民の雪に対する関心や防災意識が低くなってきています。さらに、本県は全国に比べて少子・高齢化の進展が早く、高齢者のみの世帯が増加するなど、家庭や地域での雪に対する適応力も低下してきています。

また、本県は一世帯当たりのマイカー保有台数が全国一位となっており、地下水を利用した消雪パイプの設置など、雪に強い道路整備が求められていますが、降雪時に地下水が一斉に汲み上げられることによる井戸がれや地盤沈下など水資源への悪影響も懸念されています。

こうしたことから、県ではこれまでのような雪に立ち向かう克雪中心の雪対策ではなく、雪国を支えた先人の知恵を活かし、雪とのよりよい関係を築きながら、雪に強い県土づくりを進めていくことにしています。

県民の皆さんへのお願い

雪対策は県や市町村の力だけではなく、県民の皆さん一人ひとりの積極的な参加が必要です。円滑な除雪作業を実施するため、ご協力をお願いします。

除雪の妨げとなる路上の駐・停車はやめましょう。

自宅前の道路は、自分たちで除雪しましょう。

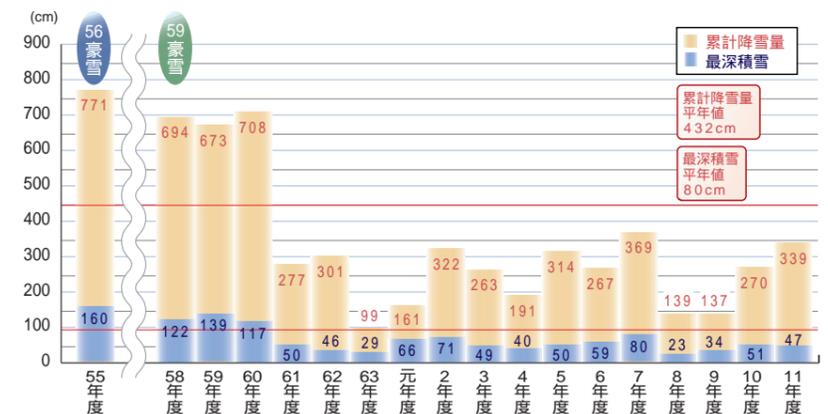
道路に屋根雪などを投げ出さないようにしましょう。

地域の道路は、地域の皆さんで協力して除雪をしましょう。

水路や流雪溝などへの雪の投げ捨ては、ルールを決めて計画的に行いましょう。



富山市の累計降雪量と最深積雪の経年変化



雪対策への要望（上位10位）

| 順位 | 項目 |
|----|--------------------------------------------------|
| 1 | 歩道の除排雪が徹底されていること |
| 2 | ひとり暮らし高齢者世帯などに対する除排雪活動が進められていること |
| 3 | 凍結防止剤散布や凍結抑制舗装などの路面凍結対策が進められていること |
| 4 | 消雪施設や堆雪帯をもった雪に強い道路が整備されていること |
| 5 | アーケード、地下通路、無散水消雪施設などにより快適な歩行者空間が確保されていること |
| 6 | 地域ぐるみの除排雪が進められていること |
| 7 | 除排雪のために下水処理水や温排水などの未利用エネルギーが利用されていること |
| 8 | 円滑な道路交通確保のために降積雪時でも見やすい信号機、標識の整備や交通規制などが行われていること |
| 9 | 公共交通の運行が確保され、利用が促進されていること |
| 10 | 豪雪時における除排雪体制の強化が整備されていること |

「雪と県民生活に関する世論調査（平成12年富山県実施）」

「雪との共生」をめざして

本年度から始まる総合雪計画は、雪に立ち向かうのではなく雪と共生していくことというところに視点をあっています。

県ではこの計画に基づいた様々な施策を推進し、雪と上手に付き合いつながり、県民の皆さんとともに「元気な雪国とやま」を築き上げていきたいと思います。

元気な雪国づくり事業

県では今年度から、雪に関する調査研究・啓発活動に対して助成する「元気な雪国づくり事業」を実施します。研究者のほか、個人やグループも対象としています。

調査研究の例

- ・県内の雪にかかわる生活文化調査
- ・新エネルギーを活用した環境にやさしい融雪住宅の開発
- ・冬季の健康スポーツに関するメニューと効果に関する研究開発など

助成額や手続きなど、詳しくは、県庁水雪土地対策課までお問い合わせください。

問合せご意見は、
県庁水雪土地対策課
076(444)3126



富山湾の深層水を使った入浴剤とミネラルウォーターは、タラソピアのオリジナル商品。

タラソピア

平成10年オープン。深層水の情報提供や商品の紹介など深層水への理解促進や研究にも努めている。11月30日まで、コース料金の割引があるオープン3周年記念キャンペーンを実施。隣接する「ほたるいかミュージアム」などを含めた一帯は、道の駅「ウェーブパークなめりかわ」になっている。

営業時間 / 午前10時～午後9時
休館日 / 火曜日(祝日の場合翌日)、12/31、1/1、1月の最終月曜日から3日間、6月の最終月曜日から4日間
利用対象 / 16歳以上
利用料金 / ダイナミックゾーン 800円
水着&スィミングキャップレンタル 500円
ヒーリングゾーン(予約必要) リラクシングマシン 800円
エアロゾール 800円
ハイドロマッサージ 800円
アルゴバック 3,000円
ファンゴバック 3,000円
各メニューを目的に合わせて組み合わせたコースもあります。(ダイナミックゾーンでは、水着とスィミングキャップの着用が必要)

問合せ / ☎076(476)9303
メールアドレス / hotaru-n@micnet.ne.jp
ホームページ / <http://www.micnet.ne.jp/hotaru-n/museum>

公共交通機関で
JR滑川駅・富山地方鉄道滑川駅から徒歩約8分
自家用車で
北陸自動車道滑川ICから約10分



アルゴバックは、粉末状の海藻に深層水を加えたペーストを塗る。血行を促進し、うるおいを与える。



ファンゴバックは、海泥に深層水を加えたペーストを塗る。肩こりや腰痛など筋肉疲労をやわらげる。



深層水の浴槽で泡と水流によるマッサージをするハイドロマッサージ。血行促進とリラックス効果がある。



隣接する「ほたるいかミュージアム」では、特殊体感シアターや展示ホール、ミュージアムギャラリーなどでほたるいかを紹介している。



霧状の深層水を肌と呼吸から体内に取り入れるエアロゾール。幻想的な雰囲気です。心身ともリフレッシュ。



1階の休憩コーナー。富山湾の深層水についての情報も展示されている。



窓の外からは富山湾が一望でき、気分を爽やかにしてくれる。



白い外壁に青い文字がポイント。建物の向こうには富山湾が広がっている。



健康増進効果が期待できるダイナミックゾーン。右は、水の流れと逆に歩いて血行をよくする歩行浴。海水の浮力効果があるため、体重の負担が少なくなり、一般のプールより長い時間運動することができる。



深層水 の力で心地よく、美しく。 心と体の リラクゼーション体験。

富山湾の恵み、深層水を肌で感じてみよう。

タラソピア

深層水を体験できる世界で唯一の健康増進施設

紺碧の美しい海原が続く富山湾は、大いなる恵みと神秘の海。近年評判になっていく深層水も、そのひとつ。深層水とは、三百メートル以深にある海水のことで、冷たく、清浄で、マグネシウムなどのミネラル分を豊富に含み、健康増進やストレス解消に効果をもたらすとされる。特に、富山湾の深層水は、一年を通して低温で安定しているという大きな特長がある。

タラソピアは、この富山湾の深層水を利用した健康増進施設。もともと海水を使った海洋療法であるタラソセラピーは、海水や海藻、海泥などを用いて自然治癒力を高める療法で、紀元前から行われているが、深層水を使った施設は、世界でもここだけだ。

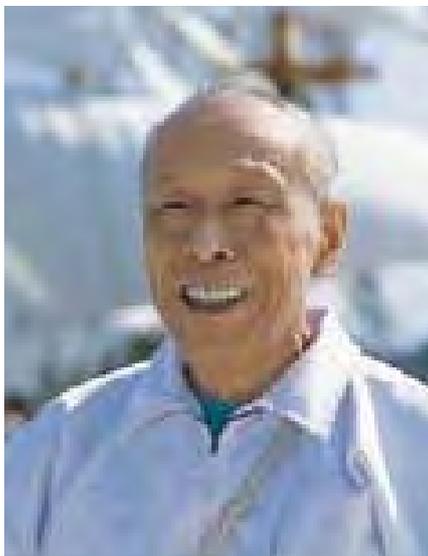
深層水のプールで元気に
タラソピアには、深層水の水流や気泡で健康を高めるダイナミックゾーンと、心身のリラクゼーションや美容効果のあるヒーリングゾーンの二つのゾーンがある。
ダイナミックゾーンでは、細かな気泡でマッサージするバブルホー

ル、肩や背中に水圧を受けるキャノンベンチ、足に刺激を与えるフットスパなど、いろいろなコーナーがあり、目的に合わせて楽しめる。水温は、体が一番リラックスできる三十三度から四十度に設定。水流による効果で体内の血液循環が活発になり、さらに、深層水の塩類が皮膚を刺激して、体がぽかぽかと温かくなる。

ゆったりと心と体を癒す
ヒーリングゾーンには、エアロゾールやアルゴバックなど、深層水を体内に取り入れたり、体を温め発汗を促したりするメニューがある。また、ミネラルが浸透し、肌につるおいを与える効果もある。
静かな空間で、心地よさに包まれて過ごす時間は、ちょっとした贅沢。日ごろのストレスや疲れから解放され、心も体もリフレッシュできる。

ふたつのゾーンとも、効果を実感して何度も訪れる人が多い。
隣には、ほたるいかの神秘的な光をテーマにした「ほたるいかミュージアム」がある。潮風を感じながら、富山湾の恵みと神秘を満喫してみたい。

現役時代さながらの 美しい勇姿を再現する喜び



総帆展帆100回参加第1号の
海王丸ボランティア

玉井 文次さん

1932年生まれ 富山市在住

白い帆を広げた優美な姿から、“海の貴婦人”と讃えられる帆船海王丸。平成元年の引退後も、係留地となった富山新港において、29枚の帆を広げる総帆展帆で、美しい姿をよみがえらせている。この展帆作業を行うボランティアに、初展帆以来一回も欠かさず参加しているのが、玉井文次さん（69歳）その数は今年6月に100回を数え、帆船海王丸記念財団から海王賞が授与された。



展帆の最初の作業は、マストに登って帆を降ろすこと。慣れた手つきで作業をする玉井さん。

少年時代から抱き続けた船への憧れ

「海王丸が練習船として活躍していたときも、富山新港に来ると必ず見に行っていたんですよ」

少年時代から船が好きで、一時は真剣に船員になることも考えたと言う玉井さん。その望みは親の反対もあって断念したが、船への憧れだけはずっと抱き続けてきた。就職してからはヨットに乗ったり、海王丸の勇姿を求めて、寄港地に通ったりするのが楽しみだった。

それだけに、富山新港に海王丸の係留が決定し、展帆作業を行う海王丸ボランティアの募集を知ったとき、玉井さんは「これはチャンスだ！日本の財産ともいえる海王丸を守るために役立ちたい」と、募集初日に応募。以来、これ

まで眺めていただけの憧れの“貴婦人”との長いつきあいが始まった。

マストから見た海原の感激

地上訓練を経て、平成二年四月に初展帆。当時は、今と違い、実際に航海で使用した重くて扱いにくい帆だったが、マストにのぼったときの眺めの素晴らしさに、そんな苦労は吹き飛んだ。

すべての帆を張り終えたとき、玉井さんが目にしたのは、まるで大海原を走っているかのような海王丸の姿。その瞬間の喜びは何にも代えがたいものだった。

その日をスタートに、一回も欠かすことなく総帆展帆に参加したのは、百八十八名を数えた一期生のなかで玉井さんただ一人。その回数、今年の六月で百回に達した。

「そんなになつたのかと、自分でもピンとこないです。

楽しんでやっているから、あつという間に過ぎてしまいました」

微笑みながらそう語る玉井さんは、ずっと展帆参加の

先頭を走ってきた。玉井さんの顔には、海王丸に魅せられた幸せが漂っている。

航海“はまだまだ続く”

「楽しいから続けてこられた」と言う玉井さんだが、展帆のある日の勤務を早朝に変えてもらい、仕事を終えてから参加することもしばしば。また、展帆が行われない冬期には、張り替え用に準備する新しい帆の縫製作業も行っている。

「これからは好きな船旅をもっと楽しみたい」と思う一方、百回を通過点として、百五十回、二百回と頑張りたいという意欲も強い。

「子どもにとっての玩具みたいなものでしょうか。とにかく飽きることはないんです」

憧れの海王丸との“航海”は、まだまだ続きそうだ。



何本もあるロープをみんなで引いて帆を張っていく。マストは、前からフォア、メイン、ミズン、ジガーの4本。約1時間半ですべての展帆を完了する。総帆展帆は年に10回程度行われ、雨や強風の日は、中止になることもある。

障害者のITバリアフリー化への助成のお知らせ

視覚または上肢に重度の障害がある方が、これから新たにパソコンを購入し、利用を始める際に必要となる周辺機器やソフトなどの購入費の一部を助成しています。

申請対象者

県内にお住まいの重度の視覚障害者または重度の上肢不自由者で、次の要件のいずれも満たす方

視覚または上肢についての障害の等級が1級または2級の方

社会参加が見込まれ、周辺機器などを使用しなければパソコンの操作が困難と認められる方

前年の所得税課税所得金額が特別障害者手当の所得制限限度額を超えない方

対象品目

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------|
| 視覚障害者 | ・点字プリンター ・画面音声化ソフト ・視覚障害者用ワープロアプリケーションソフト ・画面拡大ソフト など |
| 上肢不自由者 | ・インテリキー(大型キーボードなど) ・ジョイスティック(操作棒) ・操作支援ソフト など |
| 両障害に共通 | ・周辺機器やソフトなどをパソコンに接続させるために要した費用(障害があることにより必要となるもの) |

パソコン本体は補助の対象になりません。

助成額 周辺機器やソフトなどの購入に要した費用の3分の2以内(ただし、限度額10万円)

申込先 お住まいの市町村役場の身体障害者福祉担当課

問合せ お住まいの市町村役場の身体障害者福祉担当課 または 県庁障害福祉課 ☎076(444)3212

高校生による創造発信事業「高校生きらめきフェア」の開催

高校生がいきいきと取り組む活動や各高校の特色を、中学生をはじめ広く県民の皆さんに紹介します。

日時 12月15日(土)~16日(日) 午前10時~午後3時30分

会場 富山国際会議場

参加校 約70校

内容 展示コーナー

- ・各高校紹介コーナー
 - ・特別展示コーナー(ホームページコンテスト、生徒実習品展示即売、ロボット展示 など)
- ステージ発表

15日 国際環境サミット報告、ディベート決勝大会、ロボット競技大会デモンストレーション など

16日 商業実技競技会デモンストレーション、英語プレゼンテーションコンテスト優秀者披露、伊藤敏博アワー など

入場料 無料

問合せ 県教育委員会指導課 ☎076(444)3450

とやま棚田フォーラムの開催

「とやま棚田ネットワーク」発足を記念してフォーラムを開催し、棚田の魅力や保全について考えます。

日時 11月29日(木) 午後1時20分~4時30分

場所 とやま自遊館ホール

テーマ 「みんなで棚田を守らんまいけ」

内容 基調講演「棚田の魅力」

千賀裕太郎氏(東京農工大学教授、棚田学会理事)
活動報告「棚田保全の輪」

・みのり棚田の学校(八尾町の地元代表)

・「棚田を守り隊」で棚田を守りたい!!

(県立中央農業高校生)

・棚田のすばらしさ(氷見市の棚田オーナー)

公開討論「とやま棚田ネットワークの設立」

遠藤和子氏(作家)、広瀬慎一氏(富山県立大学教授)、助重雄久氏(富山国際大学講師)、高木美奈子氏(県自然解説員)

入場料 無料

問合せ 県庁企画管理課 ☎076(444)9011

デザインウェブ2001イン富山の開催

商品化を前提とした生活を彩る新しいデザインやアルミとガラスの融合をテーマとした新商品などを紹介します。

日時 11月13日(火)~30日(金)

午前9時~午後5時(13日は午後1時30分~)

会場 県産業高度化センター展示室

(高岡オフィスパーク内)

内容 ・「富山プロダクトコンペティション2001」

公募優秀作品の展示

・デザインワークショップ(アルミとガラス)の成果展示

・ステファノ・ジョバンノーニ(イタリアのデザイナー)のデザイン展示 ほか

入場料 無料

問合せ 県総合デザインセンター

☎0766(62)0510

高齢者の入居を拒まない賃貸住宅の登録・閲覧制度

今年10月から、高齢者が安心・円滑に入居できる賃貸住宅の情報が広く提供される制度がスタートしました。

登録

貸主は、県に高齢者の入居を拒まない賃貸住宅の登録を申請することができます。

なお、登録した場合は、次の制度の対象となります。

[家賃債務保証制度]

実施主体 高齢者居住支援センター((財)高齢者住宅財団)

対象住宅 県に登録された高齢者円滑入居賃貸住宅

保証内容 家賃6ヶ月分を限度に支払債務を保証

保証料 月額家賃の35%に相当する額(2年間保証)

手続き ・貸主が(財)高齢者住宅財団と基本約定締結

・借家人が入居申込の際に、(財)高齢者住宅財団へ家賃債務保証申込み

閲覧

登録された賃貸住宅の情報を県庁やホームページで見ることができます。(http://koujuuzai.neo-f.com/)

問合せ 県庁建築住宅課 ☎076(444)3358

県政ミニガイド

県では雇用対策に全力で取り組んでいます。

県では、「富山県雇用対策推進本部」を設置し、富山労働局との連携のもとに総合的な雇用対策に取り組んでいます。さらに、厳しい雇用情勢に対応するために、次の事業を実施します。詳しくは県庁労働雇用課までお問い合わせください。

緊急雇用支援アドバイザー派遣制度の創設

● 内 容

各種助成金やこの10月から施行された改正雇用対策法による新たな支援制度などについて、人事・労務関係の専門アドバイザー(社会保険労務士)が各企業へ伺い、無料で相談に応じます。また、雇用支援相談ダイヤルを設置し、電話による相談にも応じます。

- アドバイザー派遣、相談ダイヤル設置期間
平成14年3月31日まで
- アドバイザー申込み先
県庁労働雇用課
または相談ダイヤル
- 相談ダイヤル利用時間
午前9時～午後5時
(休)土、日、祝日
☎076(443)6866

雇用関係総合相談会の開催

● 内 容

創業や新分野に進出し、新規に雇用する事業者を対象とした支援制度、雇用管理の相談、求職者を対象とした雇用保険や年金制度の内容・手続き、自己啓発のための職業能力開発などの相談などに応じます。また、樋口美雄氏(慶応義塾大学教授)による「雇用問題とワークシェアリングについて(仮題)」の講演も行ないます。

- 開催日時
平成14年1月17日(木)
午後1時30分～4時30分
- 場 所
富山第一ホテル
- 入 場 料
無料
- 申 込 み
県庁労働雇用課

問合せ 県庁労働雇用課 ☎076(444)8897

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

9月号プレゼント当選者

富山県中央植物園の入園券と絵はがき
吉田真珠子さん(富山市)、片岡達彦さん(富山市)、本江佐知子さん(高岡市)、中島千恵さん(魚津市)、朴木照子さん(砺波市)
正解は「防災」でした。

とやまの情報お伝えします!【11月の県政番組】 タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00～11:30

- 4日 まちぐるみで火の用心!
- 11日 力を合わせる北東アジア
- 18日 まちで学ぼう! 中学生
- 25日 元気にとやま part III

とやまDASH! 富山テレビ
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00～9:30

- 4日 スーパーちびっ子
- 11日 富山の発明家
- 18日 富山港線の旅
- 25日 富山の葉

富山が元気。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00～10:52

11月の放送はお休みします。次回の放送は12月23日です。

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」

11月10日・24日の朝刊各紙に掲載予定

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

このたび策定された「富山県総合雪計画」では、「雪との」をめざしています。

を埋めてください。

答えはクローズアップを読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま11・12月合併号」クイズ係

締切/12月7日(金)(消印有効)

正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介したタラソピアのダイナミックゾーンご利用券をペアでプレゼントします。



1月号(各世帯配布版)は1月上旬の朝刊各紙に折り込んでお届けする予定です。

近代美術館

富山市西中野町1-16-11
☎076(4)217111

とやま現代作家シリーズ こころの原風景
【11/25(日)】
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円
トライ・アート2002 ミライズム空間
【12/8(土)~1/20(日)】
未来や未知の世界などをテーマに、子どもたちの作品や美術作品を展示します。
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円
いずれも常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☾月曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24、1/14は開館)12/25、12/28~1/4、1/15
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



水墨美術館

富山市五福777
☎076(4)313719

愛と放浪の画家 竹久夢二展
【11/2(金)~12/16(日)】
大正ロマンチズムを代表する抒情画家・竹久夢二の世界を、中右瑛氏のコレクションから紹介します。
一般 1,000円/高・大 700円/小・中 300円
常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入室は16:30まで)
☾月曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24、1/14は開館)12/25、12/28~1/4、1/15
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



中央植物園

婦中町上橋田42
☎076(4)664167

企画展「私の植物写真展」
【11/9(金)~12/12(水)】無料

第9回TOYAMA植物フォーラム
「地方植物誌の課題」
【11/18(日)】13:00~16:00 無料

企画展「干支にちなんだ植物」
【12/14(金)~1/16(水)】無料
企画展には入園料が必要です。

9:00~16:30(入園は16:00まで)
☾木曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24は開園)12/25、12/28~1/4 一般 600円 小・中 300円



自然博物館ねいの里

婦中町吉住1-11
☎076(4)692000

「花と緑のポスター原画展」
【11/2(金)~19(月)】
花と緑の普及用ポスターの応募作品の中から小・中・高生の上賞作品を展示します。

「ナチュラリスト協会会員写真展」
【11/22(木)~12/22(土)】
ナチュラリスト協会会員が、自然を撮影した写真を展示します。

9:00~16:00
☾火曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24は開園)11/5、11/26、12/29~1/3 入園無料



県民公園太閤山ランド

小杉町黒河4774-16
☎076(5)616116

第5回ジュニアドッジボール大会
【12/2(日) 9:00~15:00】
小学4年生以下の男女32チーム12名~20名による大会を行います。
参加費/1チーム2,000円 要申込11/15まで

水鳥ウォッチング
【12/16(日) 9:00~13:00】
ナチュラリストと渡り鳥を観察します。
参加費/600円(昼食代含む) 要申込11/10~12/10
9:00~17:00(☾火曜・祝日の翌日11/4、11/24、12/24は開園)11/5、11/26、12/29~1/3
入園無料(駐車料金と施設利用料金は別途必要)



こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド内)
☎076(5)600000

造形ワンダーランド
【11/3(祝)~25(日)】
視覚、触覚、聴覚など、人の五感をテーマに様々なもの作りやクイズなどを楽しめます。
材料代 100円~200円

音と遊ぼうサウンドマーケット
【11/18(日)~12/16(日)】
様々な音を題材にして、愉快的なゲームやクイズを楽しめます。

9:30~17:00(☾火曜・第4水曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24は開館)11/5、11/26、12/29~1/3 入館無料)



海丸パーク

新湊市海王町8
☎076(8)258881

伏木富山港ものしり教室
【11/13(火)~12/2(日)】
パネルにより、伏木富山港を紹介します。

探鳥会(富山新港臨海野鳥園)
【11/18(日)12/16(日)】

もちつき大会
【12/22(土)】当日先着100名

入園自由 帆船海丸乗船は9:30~16:00
☾月曜・祝日の翌日(12/24、1/14は乗船可)11/6~30、12/25、12/29~1/3
乗船料 一般 400円 小・中 200円



ウッドリウム富山

小杉町黒河新4940
☎076(5)61570

趣味の木工教室
【12/9(日) 9:00~12:00】
初心者でも作れるおしゃれなカントリーボックス(6ヶ所仕切り付収納ボックス)を製作します。
材料代 1,800円
要申込 12/2まで 定員20名(先着順)

9:00~16:30
☾火曜・祝日の翌日(11/4、11/24、12/24は開館)12/29~1/3
一般 220円 小・中 110円(工作室を利用する場合)



高岡文化ホール

高岡市中央公園13-1
☎076(2)54141

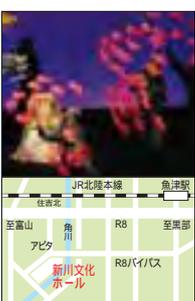
西村由紀江クリスマスコンサート
【12/19(水) 開演19:00~】
テレビなどの音楽プロデューサーとしても活躍するピアニスト西村由紀江が、透明感あふれる音の世界を披露します。
前売3,000円(当日3,500円)
会場受付にて座席指定 18:00~



新川文化ホール

魚津市宮津1-10番地
☎076(2)1123

にんぎょうシアター in ミラージュ2001
【12/1(土)・2(日) 14:00~、18:00~】
今年で5回目になる人形劇の祭典。県内外で活躍する12の団体が出演します。「3匹のこぶたではない!」「かさじぞう」「さるじぞう」「呉羽山の宝ほり」など、素敵な物語とたくさんの人形が登場します。
前売500円(当日600円)全席自由



呉羽少年自然の家

富山市西金屋字長尾8194
☎076(4)341908

第3回呉羽クラフトの集い
「干支の置物、ミニ門松をつくろう」
【12/22(土) 9:00~12:00】
新しい年の幸せを願い、竹を利用して干支の置物(午)、ミニ門松を作ります。
対象/小・中学生とその家族、一般
参加費/400円
定員/50名 要申込11/6~12/18

9:00~17:00(☾月曜・祝日の翌日(11/4、11/24は開館)11/27、11/28、12/29~1/3
日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中 340円、25歳以下 670円、26歳以上 1,020円



二上青少年の家

高岡市二上高越20-1
☎076(6)2100001

クリスマスを楽しもう
【12/15(土)~16(日) 1泊2日】
ケーキ作り、ゲーム、キャンドルのつどいなどを行います。
大人 2,700円/小・中学生 2,000円
対象/小学4年生以上とその保護者
定員/100名 要申込 11/14~(先着順)

9:00~17:00(☾月曜・祝日の翌日(11/4は開館)11/22、12/25、12/29~1/3
日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中 340円、25歳以下 670円、26歳以上 1,020円





とやま 音のある 風景

Vol.38

赤トンボ広場の虫の声
山田村

色づく山並みの 深い秋に歌う

標高六五〇メートル。山田村の牛岳温泉スキー場にある赤トンボ広場は、澄んだ秋の空気に包まれている。

ここは、その名の通り、赤トンボの群れに出会えるところ。ゲレンデの頂上近くに、多目的スポーツ広場としてつくられ、八尾町から砺波平野、遠くは富山湾まで一望することができる。

リリー、リリー、リリリリ。

あたり一面に響くスズムシやコオロギなどの虫の声。遠く、近く、音色を競うように高く鳴いている。

その音にのって赤トンボの群れが舞う。上下左右に軽やかに飛び、スマートな飛行を見せている。

赤トンボと呼んでいるのは、アキアカネなどのことで、夏の初め、羽化したばかりのころはまだ黄色い体をしている。暑さを嫌って平地から高山地へ移り、夏を過ごし、やがて成長とともに赤くなる。そして、秋を迎えてこの標高辺りに降りてくるのだという。冷え込みが厳しくなるとさらに平地へと降りていく。

背面には牛岳、眼下には散居村。ここは今、虫たちの憩いの場。やがて雪で白く覆われると、待ちかねたスキーヤーたちでにぎわう。行く秋を惜しむかのように、ひととき強く虫の音が響く。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。